

教科目名 情報工学 (Information Engineering)

学科名・学年 : 機械工学科 4 年 (教育プログラム 第 1 学年 ◎科目)

単位数など : 必修 1 単位 (前期 1 コマ, 学習保証時間 22.5 時間)

担当教員 : 徳安達士

授業の概要			
情報を処理するということは、特定の事象に関する情報を取得して、他人が理解しやすいように情報を加工することである。また、情報通信とは、加工された情報を適切な方法で有限時間内に他者に伝達することである。情報工学では、インターネット、新聞、文献などの膨大な資料に基づき、パワーポイントを使った資料作りとプレゼンテーション技法について理論と実践を交えて身に付ける。また、エクセルによるデータ処理やグラフ作成、ワードの書式決定と文章作成の方法を習得する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(B2)、JABEE 目標(c) (d(1)②) (g)	
(1) ある事象に関する情報を信頼できるWEBサイトから取得し、Powerpointによって発表資料を作成できる。 (定期試験と課題演習)			
(2) 数値データをExcelの機能によって正しく分析することができる (定期試験と課題演習)			
(3) Excelによって数値データから用途に応じたグラフを作成することができる (定期試験と課題演習)			
(4) 決められた Word のフォーマットで文章を作成し、必要に応じて図表を挿入することができる。(定期試験と課題演習)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	Microsoft Power Pointの導入	○社会におけるプレゼンテーションと文章作成の重要性について	【理解の度合い】
2	デザインの4大原則	○整列、近接、反復、対比の重要性	
3	Power Pointの基本的な操作手順	○Power Pointの基本的な操作方法について演習を通して理解する	
4-5	発表資料作成	○班に別れ、与えられた議題について7分間のプレゼンテーション資料を作成する	
6-7	プレゼンテーション	○作成した資料に基づき、班毎に7分間の発表を行う	
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期期末試験の解答と解説		【理解の度合い】
-12	Microsoft Excelの導入	○Excelを使ったデータ処理、図表作成、グラフ作成を演習を通して理解する	
13-14	Microsoft Wordの導入	○Wordを使って卒業論文、学術論文の書式で、技術的に高度な文章作成の方法について、演習を通して理解する	
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		Power Point を使ったプレゼンテーションまたは図表を用いた文章の作成は、現代社会を生きる技術者には避けて通れない仕事であるといえます。夏休みのインターンシップだけでなく、就職および進学を見据えてスキルアップしてください。	【総合達成度】
教 科 書		担当教員が作成した資料に基づいて実施する	
参 考 図 書		なし	
関 連 科 目		情報処理Ⅰ、情報処理Ⅱ、情報工学、メカトロニクスⅠⅡ、卒業研究	
総 合 評 価		達成目標の(1)～(4)について、2回の試験と課題で評価する。 定期試験の成績(60%)およびレポート・課題の提出(40%)により評価する。再試験は実施しないので、授業に真面目に取り組むこと。	【総合評価】 点